

	2010年8月	2010年9月	2010年10月	最近の経済動向
世界	-液晶パネル値下がり -世界半導体売上:7月 37%増	-GDP:10年:世界 3.5%、日 2.5%、米 2.9%、EU 1.1%、中 10% -世界経済後半から減速IMF -レアメタル高騰、中国の生産規制 -半導体、液晶値下がり -世界半導体売上:8月 33%増 6か月連続+	-世界貿易量:10年:13.5%増 50年以降最大 -世界M&A:9月 55%増3四半期ぶり -G7 新興国為替柔軟性求める -世界パソコン出荷 7-9月 11%増	・中国、インド、NEIS/ASEAN 経済は内需拡大等で力強く回復し世界経済を牽引。米、日の先進国経済は新興国への輸出、投資・生産の増加等で緩やかな回復。欧州、米国経済に先行不透明。
日本	-金融:日銀資金供給 30兆円、年 0.1%、長期金利低下 10年物 0.98% -株価:12日一時 9,119円、26日 8,845円 -雇用:7月:失業率 5.2%、0.1%改善 -物価:7月:消費者 1.1%減 -所得:7月:現金給与 1.3%増5カ月+ -消費:7月:消費支出 1.1%増猛暑、小売業販売 3.9%増、新車販売 12.9%増 48.7万台、住宅着工 4.3%増 -受注:7月:機械 23.4%増、民需 14.7%増、工作機械 2.4倍8カ月+、産業機械 5.1%減 -生産:7月:鉱工業 14.2%増、前月比 0.2%減、在庫 1.3%増、自動車 16.8%増 -貿易:12日 84円前半、7月:輸出 23.5%増、輸入 15.7%増 -投資・開発:三菱化、GS17サ短時間充電・大容量・長寿命電池開発、	-財政・金融:10年物国債一時 1.15%、日銀新貸付開始、経済対策 9,150億円、事業規模 9.8兆円 11年度予算 -株価:1日一時 8,824円、15日 9,541円 -雇用:8月:失業率 5.1%、0.1%改善 -物価:8月:消費者 1%減、食料、家電 -消費:7日エコカー補助金終了、8月:消費支出 1.7%増3カ月+ 車駆け込み、猛暑、小売業販売 4.3%増、自動車、エアコン、新車販売 37.7%増補助金終了前、住宅着工 20.5%増前年反動3カ月+ -受注:8月:機械 38.4%増、前月 9.8%増工作機械 2.7倍 -生産・販売:エルピーダ 30ナノDRAM 量産(12月)、シャープ電子書籍販売(12月)、8月:鉱工業 15.4%増、前月比 0.5%減3カ月+、乗用車生産 19.8%増 65.8万台 -貿易:尖閣問題で中国対日レアメタル輸出規制、通関手続厳格化、15日 82円台、8月:輸出 15.8%増、輸入 17.9%増 -投資・開発:シャープ太陽電池世界最高発電効率、先端電池量産、三洋電太陽電池世界最高発電効率販売、大日本スクリーン消費電力半減LED量産、東電海外事業に10年間1兆円、8月:機械受注民需 32.2%増、前月比 10.1%増	-財政・金融:日銀追加金融緩和策・政策金利 0.1%、0%、国債、社債等 5兆円購入、長期金利一時 0.82% 緊急経済対策閣議決定 5兆円 -株価:7日終値 9,684円、20日一時 9,376円 -消費:9月:新車販売 0.1%減 -受注:9月:工作機械 2.1倍 -貿易:14日欧州一時 80.88円 -収益:7-9月:純益:キヤノン 50%増 900億円、4-9月:営業益:東芝 1,000億円、三菱重 2.4倍 600億円、三菱電 2.4倍 600億円、富士フィルム 850億円黒、TDK 6.7倍 360億円、来3月期:日立ハイテク 220億円黒字	(前々月)・GDP 第1四半期は消費低水準で減速、デフレ傾向続く。企業業績第1四半期急回復。株価は欧州信用不安、米先行き不確実で低迷。輸出回復も減速。設備投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率ほぼ高止まり、個人消費は猛暑や好調な車販売で緩やかな回復傾向。受注、生産は回復もやや減速。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題、エコカー補助金廃止影響懸念 ・GDP4-6月は消費低水準で減速、デフレ傾向続く。企業業績4-6月急回復。株価は欧州・米国先行不安、円高で低水準もやや上向き。輸出回復が減速。投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率高水準もやや低下、個人消費は猛暑等で微増も車急減で先行不透明。受注、生産は回復もやや減速。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題、円高、車補助金廃止影響懸念
アジア・大洋州	-中国:7月:輸出 38.1%増、輸入 22.7%増、対中直接投資 29.2%増、新車販売 14.4%増減速、消費者物価 3.3%増、6月中旬:純益:上場企業 4.1%増、20年迄:新エネ自動車産業振興 1.3兆円投資 -台湾:4-6月:GDP 7.2%増 5四半期+、純益:広達 4%増、ホンハイ 7%増、コパル 99%増、7月:鉱工業生産 20.7%増、輸出 38.5%増、海外受注 18.2%増 -韓国:造船大手受注回復、Hynix・フラッシュメモリー 20ナノ量産、7月:輸出 30%増、輸入 29%増、新車販売 1%増、13年迄:主要企業環境投資 1.6兆円、4-6月:営業益:L G 90%減 -ASEAN5か国:4-6月:GDP前期比年率 8.6%、7月:新車販売 34%増 -タイ:0.25%利上げ年率 1.75%へ、4-6月:GDP前期比年率 1%増、7月:消費者物価 3.4%増、自動車生産 94%増 -マレーシア:4-6月:GDP 8.9%増 -インドネシア:7月:新車販売 72%増、消費者物価 6.2%増 -インド:7月:鉱工業 13.8%増、新車 37%増、卸売物価 10%増 -豪:4-6月:GDP 4.9%増	-GDP:10年:アジア 8.2%、中 9.6%、韓 6%、台 7.7%、ネシア 6.1%、タイ 7.1%、インド 8.5 -株価:7日全面高、26日アジア新興国株急伸 -中国:ハイオ、新エネ等戦略の新興産業育成、8月:輸出 34.4%増、輸入 35.2%増、対中直接投資 1.4%増、消費者物価 3.5%、不動産価格 9.3%鈍化 -台湾:TSMC太陽電池増産、8月:輸出 27%増、海外受注 23%増、15年:車大手 10社EV量産 -韓国:サムスン 11年設備・研究開発投資 2.2兆円 15%増、12年迄 100万台増産、13年EV増産、8月:鉱工業生産前月比 1%減、輸出 29.6%増、 -ASEAN5か国:8月:新車販売台数 27%増 -フィリピン:8月:新車販売 35%増 -タイ:8月:自動車生産 52%増、消費者物価 3.3% -インドネシア:8月:輸出 30%増、車販売 35%増、消費物価 6.4% -インド:0.25%利上げ年 6%へ、11日株価 2年8カ月ぶり高値、夕夕車開発・増産 3年間 1,600億円、8月:鉱工業生産 5.6%増伸び率鈍化、新車販売 33%増、輸出 13.2%減、輸入 34.3%増、卸売物価 8.5%増	-中国:0.25%利上げ、貸出金利 5.56%、9月:輸出 25%増、輸入 24%増、車販売 16.9%増、不動産価格 9.1%増 -台湾:9月:輸出 17.5%増、11カ月二桁、7-9月:純益:宏達 95%増 -韓国:韓・EU・FTA署名(11年7月発効)、現代自HV量産、9月:輸出 17.5%増、新車販売 12.9%減、1-9月:プラント受注 4.2兆円昨年上回る、7-9月:営業益:サムスン 14%増 3,600億円 -タイ:株価最高値、9月:消費者物価 3%増 -ベトナム:7-9月:GDP 7.2%景気回復・個人消費好調、1-9月:消費者物価 8.6%増 -インドネシア:株価最高値 -インド:9月:新車販売 29%増、消費者物価 5.8%増	(前々月)・中国は、固定資産投資・生産・消費高水準、輸出回復で経済の拡大続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績好調、GDPは高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも高水準回復。インド経済好調。持続的成長が課題。インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念 (前・今月)・中国は固定資産投資・生産・消費・企業収益高水準、輸出好調で経済拡大続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績好調、GDPも高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも車等内需、輸出好調でGDP高水準回復。インド経済好調持続。持続的成長が課題。インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念

北米	<p>-GDP:4-6月:前期比年率1.7%増、0.1ポ上方修正、消費2.2%増</p> <p>-景気:景気引き続き拡大、一部で減速</p> <p>-財務・金融:FRB国債購入拡大、国債10年物2.56%</p> <p>-株価:12日1万419ドル、25日1万ドル割れ</p> <p>-雇用:7月:失業率9.5%横這い</p> <p>-所得:7月:個人所得前月比0.2%増</p> <p>-消費:7月:個人消費前月比0.4%増、小売売上高2.8%増、卸売売上高前月比0.6%増、新車販売5.2%増、住宅着工1.7%増3か月ぶり+、新築販売12.4%減、</p> <p>-受注:7月:耐久財前月比0.3%増</p> <p>-生産:7月:鉱工業前月比1%増5ヶ月+</p> <p>-貿易:7月:輸出前月比1.8%増、輸入2.1%減</p> <p>-収益:5-7月:純益:HP6%増、デル15%増、ディア47%増</p>	<p>-景気:経済減速の兆候広がる</p> <p>-財務・金融:追加経済対策 インフラに4兆円(道路補修、鉄道建設、空港補修)、研究開発減税(10年間で8.4兆円)、投資減税(11年末までの投資を一括償却)、FRBゼロ金利維持、長期国債低下2.51%</p> <p>-株価:15日1万526ドル</p> <p>-雇用:8月:失業率9.6%0.1ポ悪化</p> <p>-所得:8月:個人所得前月比0.5%増</p> <p>-消費:8月:個人消費前月比0.4%増、小売売上高3.2%増9カ月連続+、耐久消費財前月比1.3%減、新車販売21%減、卸売売上高前月比0.6%増、住宅着工前月比10.5%増、中古住宅販売前月比7.6%増</p> <p>-生産:8月:鉱工業前月比0.2%増6ヶ月+</p>	<p>-財務・金融:財政赤字10年度105兆円過去2位</p> <p>-株価:7日1万967ドル</p> <p>-雇用:9月:失業率9.6%横這い、9.5万人減少</p> <p>-物価:9月:卸売4%増</p> <p>-消費:9月:小売売上高7.3%増、前月比0.6%増、卸売売上高12.4%増、新車販売28.5%増、前年9月補助金打ち切りの反動、住宅着工前月比0.3%増3カ月+</p> <p>-生産:9月:鉱工業前月比0.2%減1年3か月ぶり-</p> <p>-収益:7-9月:純益:主要500社24%増4四半期+、前期より鈍化、GE18%減1,620億円、IBM12%増2,900億円、アップル70%増3,500億円、インテル59%増30億ドル、グーグル32%増、AMD最終損1.2億ドル、</p> <p>-投資:インテル次世代半導体6,500億円</p>	<p>(前々月)・GDPは4-6月迄4期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安、先行き不確実で低迷。企業業績好調。輸出はリバウンド。失業率高水準横這い、個人消費は車販売減速、住宅は減税終了で縮小傾向。投資は回復傾向。受注・生産も回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>・GDPは4-6月迄4期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安、米先行き不透明も微増。企業業績7-9月迄4期二桁増。輸出は復調。失業率高水準横這い、個人消費は増加傾向、車販売減速、住宅は復調の兆し。投資は回復傾向。受注・生産も回復傾向に陰り高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-財務・金融:10年物国債2.32%</p> <p>-GDP:4-6月:EU1.9、独3.7、仏1.7、英1.7、伊1.1、蘭2.1</p> <p>-雇用:7月:失業率EU10%横這い、独6.9%、仏10%、伊8.4%</p> <p>-消費:7月:小売売上高:EU0.1%増、独0.7%減、仏2.2%増、英0.8%増、スベ3%減、ポーラ0.1%減、新車販売:EU19.1%減、独30.2%減、仏12.8%減、英13.2%減、伊26%減、蘭15.2%増、スベ24%減、ポーラ0.7%減</p> <p>-受注:7月:製造業:EU11.2%増、独18.1%増、仏9.4%増、英19%増、伊0%、蘭23.3%増、スベ3%増、ポーラ13.6%増</p> <p>-生産:7月:鉱工業:EU7.1%増、独11.4%増、仏5.7%増、英2.7%増、伊4.8%増、蘭5.3%増</p> <p>-貿易:6月:EU輸出27%増、輸入31%増、7月:EU18%増、輸入24%増</p>	<p>-GDP:10年:EU1.7%、独3.4%、仏1.6%、英1.7%</p> <p>-財務・金融:アイルランド財政赤字拡大対GDP比11-20%</p> <p>-雇用:8月:失業率EU10.1%0.1ポ上昇</p> <p>-消費:8月:新車販売:EU13%減、独27%減、仏7.9%減、英17.5%減</p> <p>-受注:8月:製造業前月比1.8%増</p> <p>-貿易:8月:輸出:独26.8%増</p>	<p>-財務・金融:欧州中銀政策金利1%据置</p> <p>-消費:9月:新車販売:欧州10%減、独18%減10カ月連続-、仏8.2%減、英9%減、伊19%減、スベ27%減</p> <p>-収益:7-9月:純益:フィリップス3倍590億円、</p>	<p>(前々月)・GDPは輸出主導で回復傾向。欧州信用不安で株価下落傾向。企業業績は回復傾向。輸出増加傾向。投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は4月以降マイナス、個人消費は低迷。受注、生産は回復傾向。景気回復、雇用確保、EU防衛が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>・GDPは輸出主導で回復傾向。欧州信用不安で株価低迷。企業業績は回復傾向。輸出増加傾向。投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は4月以降マイナス、個人消費は低迷。受注、生産は回復傾向。景気回復、雇用確保、EU防衛が課題</p>
中東ア	<p>-トルコ:4-6月:GDP10.3%増3四半期+、消費、建設、不動産、輸出</p>	<p>-サウジアラビア:斗山火力発電所受注2,900億円</p>	<p>-サウジアラビア:GE火力発電受注580億円</p> <p>-UAE:住商・韓国電発電事業1,500億円</p>	<p>・主要国経済は資源価格の上昇で回復傾向。一方、太陽光、原子力、電力、石化プロジェクト活性化。ドバイショックの鎮静化、イラク・アフガン情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-メキシコ:4-6月:GDP前期比年率13.5%増、製造13.4%増</p> <p>-ブラジル:4-6月:GDP前期比年率5%増、前期比1.2%、消費0.8%増、政府2.1%増、投資2.4%増、輸出1%増、7月:新車販売6%増</p>	<p>-ブラジル:8月:自動車販売21.2%増31万台</p>	<p>-ブラジル:株価2年ぶり高値</p>	<p>・ブラジル経済は景気回復もインフレ・利上げで冷却化。メキシコ経済も急回復。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:穀物作付面積25%崩壊、7月:新車販売48%増17万台</p>	<p>-ロシア:8月:新車販売51%増16.8万台5か月+、1-8月:GDP3.7%増、10年:4~4.4%原油、自動車、設備投資</p>		<p>・ロシアは石油価格の回復、新車販売等内需回復傾向。持続的回復が課題。</p>